

科目名	教育制度論		科目ナンバー	CC-EC2101-C		
担当者 (実務経験名)	教授 尾花 雄路 (保育園長)					
履修期	1年 前期			卒業単位	必修 2単位	
免許・資格	保育士必修、幼稚園教諭必修					
授業概要	・社会的、制度的、経営的な事項を踏まえ、保育についての基本的な知識を身に付けるとともに、それらから発生する課題等を理解し、問題解決の方法を考察することを身に付ける。 ・保育に関する基本原理として、幼児理解、教育思想とその歴史、保育制度、保育の目標および方法などについて概観したうえで、集団保育における保育者としての役割を理解している。					
到達目標	知識・理解	・保育の目的、方法などについて基本を理解している。 ・幼児教育を行う施設としての、幼稚園、保育所、幼保連携型認定こども園の制度を理解している。				
	思考・判断	・子どもを取り巻く環境を的確に理解し、適切に対処することができるような判断力を身に付ける。 ・地域との連携の方法を考察することができる。				
	興味・意欲・態度	・保育者としての自覚・責任を持って行動することができる。				
	技能・表現	・子どもにとって安全・快適な環境を整え、子どもが遊ぶための環境を構成する技能を習得する。				
授業計画	授業内容			事前事後学習内容		時間 (時間/週)
	1	保育の意味について ①保育の考え方		教科書第2章を読み、保育の考え方の概要を理解しておく。		4
	2	保育の意味について ②保育の必要性		教科書第2章を読み、保育の必要性の概要を理解しておく。		4
	3	保育の意味について ③保育の専門性		教科書第2章を読み、保育の専門性の概要を理解しておく。		4
	4	保育の場について ①幼稚園		教科書第3章を読み、幼稚園についてイメージしておく。		4
	5	保育の場について ②保育所		教科書第3章を読み、保育所についてイメージしておく。		4
	6	保育の場について ③幼保連携型認定こども園、その他		教科書第3章を読み、認定こども園についてイメージしておく。		4
	7	保育の思想と歴史		教科書第1章を読み、保育の歴史的な流れをイメージしておく。		4
	8	保育の考え方、進め方		教科書第5章を読み、保育課程の意義と意味を理解しておく。		4
	9	保育の「目標」「ねらい」「内容」について ①ねらい		保育指針・教育要領を読み、「ねらい」を理解しておく。		4
	10	保育の「目標」「ねらい」「内容」について ②内容		保育指針・教育要領を読み、「内容」を理解しておく。		4
	11	保育カリキュラムについて		教科書第5章を読み、保育カリキュラムを理解しておく。		4
	12	健康と安全への配慮		保育指針第3章の「健康及び安全」を読み理解しておく。		4
	13	多様化する保育ニーズについて		教科書第3章を読み、特別保育事業等を理解しておく。		4
	14	乳幼児の成長・発達と保育の地域との連携		保育指針第3章の4、及び教科書第4章を読んでおく。		4
	15	幼児教育の課題と展望		教科書第2章の3を読み、幼児教育の課題を考察しておく。		4
成績評価方法		知識・理解	思考・判断	興味・意欲・態度	技能・表現	評価割合
	筆記試験	○	○			50%
	レポート			○	○	30%
	課題					
	実技					
	受講状況・態度			○	○	20%
その他( )						
フィードバックの方法	1年後期が始まって、希望者は個別に面接し筆記試験結果を開示する。					
教科書	田中敏明編著「コンパス 保育原理―未来を生きる子どもたちのための保育」建帛社 1900円＋税 平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型・・・教育・保育要領 <原本>チャイルド本社 500円＋税					
参考書	配布されたプリント					
アクティブ・ラーニング	第12回目「子どもの安全について」、第13回目「保育ニーズ」について4～5名のグループで討議し、まとめ・発表をおこなう。					
ICT活用	特に使用しない。					
メッセージ・備考	保育者となるための第一歩を、入学してすぐからのこの「教育制度論」で学びましょう。					
関連科目	教育原理、保育内容総論、カリキュラム論など					